



埼玉医科大学 総合医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL CENTER NEWS

NO.

47

2017
May

CONTENTS

ご紹介

整形外科 小林 陽介 P-2

集中ケア認定看護師 看護部 P-3

新たに内視鏡センターを開設して 内視鏡センター P-4

お知らせ

超音波センター移転のお知らせ 中央検査部 P-6

連載

放射線検査 よくあるご質問 中央放射線部 P-7

お知らせ

病院ボランティア 患者支援室 P-8

病院ボランティア募集 医務課 P-9

特集

梅雨の時期、食中毒を防ごう！ 栄養部 P-10

お知らせ

夜間出入口のご案内 総務課 P-11

外来受診について／面会者へのお願い P-10

社小江戸川越観光協会



基本理念

安全で質の高い医療を提供し、
地域から信頼される医療機関を目指します。

整形外科

小林 陽介

埼玉医科大学総合医療センター整形外科の紹介をさせていただきます。

“整形外科”というと、“美容整形をする科”という印象をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、“整形外科”は簡単に言うと壊れた構造を元に戻す（形を整える）ことを行っている科です。手足や背骨のケガや加齢により変形してしまった関節を治療する科、ということになります。したがって、整形外科では美容整形手術は行っておりません。整形外科の一般的な診療内容は、スポーツや不慮のケガによる手足の骨折、捻挫（腱・靱帯損傷）や、加齢に伴う背骨の障害（脊柱管狭窄症）や手足の関節の変形（変形性関節症）、さらには生まれつきの変形（先天性奇形）や腫瘍（骨軟部腫瘍）もその範疇に含まれます。

当科の特徴としましては、大学病院で設備が充実しているという特性を活かして比較的重症度の高い症例や、関節鏡などを用いた比較的高い専門性を必要とするような手術を多く行っております。現在では背骨の狭窄症の手術、関節の変形に対する人工関節の手術、膝や肩・肘の靱帯損傷に対する関節鏡を用いた手術などが主になっております。首や腰の狭窄症に関しては、最近流行りの内視鏡手術は行っておりませんが、手術件数はかなり多くあり成績は安定しております。関節変形に対しては人工関節手術が多くありますが、それだけではなく、年齢に応じてご自身の骨を残して関節の角度を変えるような手術（骨切り術）なども行っております。膝や肩・肘の関節鏡手術は近年増加しており、アスリートのみ

ならず加齢性の変化や一般的なケガにも対応しております。当科においてもできる限り患者さんの助けができるよう努力しておりますが、専門性の問題や症例数の問題などもあり、残念ながら全てを当科で対応できるわけではありません。そこで、院内の他科（高度救命救急センター）や日高市にあります埼玉医科大学国際医療センター骨・軟部腫瘍科、さらには近隣の病院と緊密に連携し、円滑な診療を行うよう努めております。外来診療では原則的には全ての患者さんに対応できるよう努力してはおりますが、より高い専門性が求められた場合や入院や手術が必要となった場合には、他院へ紹介させていただきます。近年は社会の高齢化に伴い、高齢者の骨折は増加傾向にあります。高齢者では様々な持病を抱えておられる方も多く、当院のような施設でなければ対応できない症例では当院で対応させていただきますが、早期の手術等の対応が難しい場合は、近隣の病院での対応をお願いすることありますので、ご了承ください。

社会的背景の変化や医療費など制度上の変化により、患者さんからのニーズも変化すれば当院に求められる役割も変化してくるものと思います。それらに敏感に反応し、柔軟に対応できるよう我々も努力し、医療技術の向上に努めていきたいと思っております。また、全ては患者さんのためにあるという信念は曲げず、患者さんの立場に立ったきめ細かい対応が行えるようにしたいと思います。これからも埼玉医科大学総合医療センター整形外科をどうぞ宜しくお願い致します。



集中ケア認定看護師

看護部 宮田 俊一

自己紹介

初めまして、私は、高度救命救急センターに所属する宮田俊一と申します。教育機関での7ヶ月間の研修を経て日本看護協会認定審査を受け、2015年より集中ケア認定看護師として上記施設に従事しています。

集中ケア認定看護師とは

出来ることは、一般の看護師と変わりありません。しかし、医療は日進月歩で進んでいます。10年前行われていた治療は、今では行ないこともあります。しかし、看護の分野は、まだ古い習慣が残っており改善出来る余地はあると考えています。私は、集中ケアに特化した最新の専門的知識に基づき判断し実践しています。また、他の看護師の手本となり患者様の回復の手助けをしています。

活動内容

入院すると原疾患は良くなったのに、認知障害を起こし認知症のような症状を呈する患者様がいます。ICUシンドロームやスパゲッティ症候群として耳にしたことがあると思います。また、長期のベッド生活により四肢の筋力の低下や飲み込む力が低下し、退院後の日常生活に支障をきたすことが分かってきました。同時に家族にも精神的影響を及ぼす事が分かっています。当施設は、日本で9番目に認可を受けた高度救命救急センターであり、ドクターヘリにて広域から重篤な患者が搬送されます。原疾患が治癒しても先に話した合併症を起こすと入院期間

が長引きます。このような合併症は、医師だけの力では防げません。患者の一番近くにいる看護師の力が重要となります。従来は、呼吸器を装着した患者を歩かせることなど考えられませんでした。現在は離床を進める考えに変わってきています。もちろん安全を担保する事が重要です。「命さえあればいかなる状態でもよい」、「病気さえ治ればよい」という時代ではなく、ICU退出後や退院後においても、その人らしい生活が送れるようにと社会の意識が変化してきています。私は、スタッフと共に行う日々の実践を大切に、クリティカルケア領域におけるケアの質向上を図れるようにしていくことが使命だと考えています。



看護師募集中!!

最も環境の整った大学病院で、
地域に密着した高度な医療に貢献しませんか。

※病院見学、インターンシップ、いつでも大歓迎!! Facebookも更新しています!
詳しくはQRコードより

看護師求人ホームページ <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/nurse>

看護部 Facebook ページ <https://www.facebook.com/smu.nurse>

埼玉医科大学 総務部 人事課

0120-61-1181

TEL: 携帯の方 049-276-1115



smiling
nurse

SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY

新たに内視鏡センターを開設して

内視鏡センター センター長 屋嘉比康治

本年3月28日に、丸木理事長にご出席いただいたオープニング行事にて新たに内視鏡センターが開設いたしました。場所は旧カフテリア跡地で、これまでの約4倍の大きさです。旧内視鏡検査室についてはこれまで多くの問題を抱えていました。まず、場所と部屋の狭さであります。そのために当院のような大病院にとって日常の業務を果たすのにきわめて不自由であり困難をきす狭さで、検査室も3部屋しかなく、途中で無理に1室増やし、合計4室で運用しておりました。勿論、検査室の中には被験者用のトイレがなく、大腸検査を受ける患者さんには大変に不便をかけまたご迷惑をかけたと思います。今回の内視鏡センターは通常の内視鏡検査室は5部屋であり、さらにエックス線透視が出来る検査室も2部屋あり、合計7部屋の運用に拡張できました。この拡張によって検査実施機能が格段と大きくなり毎日の検査数が1.5倍に拡張する予定で、これまでのように検査の申込みから数週間待たされるようなことはなく、必要に応じて1週間以内には実施できるものとなります。特に、下部消化管（大腸）内視鏡検査は1か月以上、時には2か月以上待機させられたようなことは解消し、1～2週間以内に実施できるようになります。さらに胆道や膵臓の検査や気管支鏡検査も内視鏡センター内にて行えるようになり、時間的な融通性の実現し、多くのスタッフが一緒になって実施できるようになります。さらに、最新鋭の透視機械や内視鏡機器をそろえて、この分野

においては世界最先端のERCP検査や胆道・膵疾患の処置や治療がすでに実施されております。この領域の手技は今回のセンター実現と人材の確保が相まって一挙に最先端医療が日常的に行われる状況に進歩しました。そのほか、食道・胃・大腸がんの内視鏡治療も2部屋使用して行える状況となりがん診療においても大きく前進しました。内視鏡センターにはこれまでになかった治療前の処置室が、上部消化管検査、大腸検査、それに気管支鏡検査に分けて行えるようになり前処置の安全性や利便性も大きく進歩しました。特に十分な数の男女を分けたトイレやリカバリールームも装備して快適であり安心できる施設となっております。

今回の内視鏡センターの施設のイメージは「森の中の病院、内視鏡センター」といつの間にか決まりました。この理由はおそらく、樹木が豊かに育ち生命が慈しまれて大きく羽ばたいていくように、センターにおいて病める体を蘇生させることが出来る森の持つ生命力にあふれる環境のイメージを例えたものです。この快適な検査空間は、丸木理事長はじめ堤病院長や多くの方々のご支援によって実現したものであり、心より感謝申し上げます。この施設を多くの人々の生命を守り、蘇生させ生命を延長できるようにフル回転させ、内視鏡医、センター看護師、その他のスタッフが「患者さんのため」との目標に一丸となってさらに最高の医療を実現したいと頑張っていきます。



写真-1 3月28日テープカットの風景



写真-2 内視鏡センター 主要通路 壁には樹木が描かれている



写真-3 センター内 待合室 以前と比べて広い待合室で大きな開口の窓からの日差しで明るい

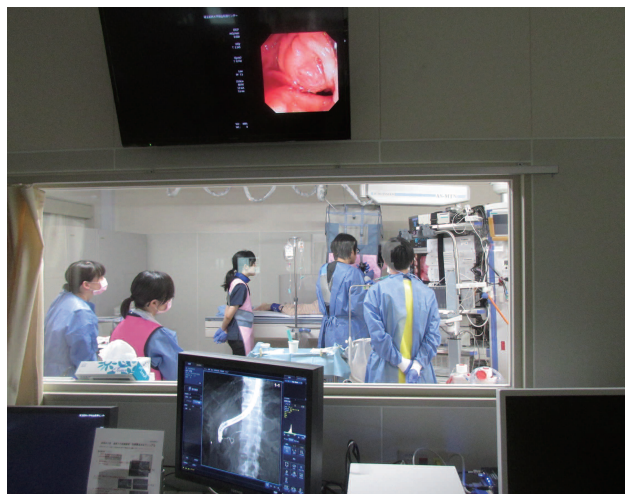


写真-4 エックス線透視管理室から見えるERCP検査の状況



写真-5 ERCP検査や小腸内視鏡検査に使用される内視鏡透視室1



写真-5 C-アームX線透視装置Ultimaxを装備した内視鏡透視室2



写真-6 消化管腫瘍の内視鏡治療に用いられる消化管内視鏡検査室5



写真-6 内視鏡機器洗浄室

超音波センター

中央検査部

当センターの病棟改修工事に伴い4月3日より超音波センター（エコー室）が2階人工腎臓部（透析室）向かい側から、同じ2階中央採血室の斜め前（前生理機能検査室2）へ移転しました。

装いも新たになった超音波センターは、検査フロアーと受付カウンターが木目調で統一され、落ち着いた中にも明るさのある造りとなっています。

検査ブースはパーテーションとカーテンで6つに仕切られており、それぞれ個室化しています。各ブースの床には1～6の番号が表示されている為判りやすく、患者様の入室も比較的スムーズにできると思われます。

以前は構造上の理由で対応出来ずご不便をかけて

いたベッドでの来室検査も可能となりました。

また、受付フロアーには患者様の待機スペースを作ることができ、車椅子やベッドで来室された患者様の検査待ちまたはお迎えまでの間、様子を確認しながらお待ちいただくことも可能となりました。

現在、超音波検査は9名の臨床検査技師（男性3名・女性6名）で行っています。

新しくなった超音波センターと同時に、我々検査技師も心を新たにし、超音波検査を通して皆様のお役に立てる様、より一層の努力をしていくつもりです。

検査についての疑問などありましたら、どうぞお気軽にお声がけ下さい。



放射線検査 よくあるご質問

中央放射線部



RT JOURNAL

放射線

2017

vol.11

救命救急

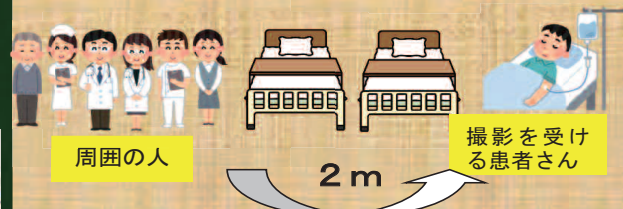
2016年にオープンした高度救命救急センターの新病棟内には、専用のX線撮影室2部屋、血管撮影室が1部屋あり、X線検査室にはCT装置と一般撮影装置が同室に備わっています。

これにより最小限の移動で、複数の放射線検査を受けることが可能となり、時間との戦いである救急患者さんに対し時間的効率の高い放射線検査を提供しております。

放射線検査
よくあるご質問

Q.ポータブル撮影時の周囲のひとの被ばくは大丈夫か

A.2m離れた箇所では、普段生活しているだけで受ける被ばく線量（宇宙からの放射線等）と同じ程度です。よって撮影を受ける患者から2m以上離れていれば、被ばく線量を気にする必要はありません。具体的にはベッドの2つ分の幅がおおよそ2mに該当します。



ベッド2台分（＝約2m）離れていれば大丈夫です。

編集後記

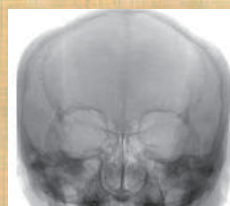
RT Journalでは、我々診療放射線技師が、放射線に関わる項目を出来る限り分かりやすく紹介させて頂いています。これからもRT Journalを通じて、皆様が放射線に関して正しい知識を身に付けて頂けるよう頑張りたいと思います。

Q.血管撮影はどうやって血管を撮影するのですか？

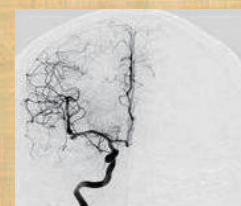
A.血管を露出して写真撮影するわけではありません(笑)血管の中に細い管を挿入し造影剤という薬剤を注入しながら、連続的にX線撮影することで血管影を観察します。また、造影剤を注入した画像から注入前の画像を差引くことで血管影のみを描出することも可能です。



—



=



出典：日本放射線技術学会“血管造影検査”<http://www.jsrt.or.jp/data/citizen/housya/x-04/>

病院ボランティア

患者支援室

緑のエプロンを身に着け、名札を胸に背筋を伸ばして元気に正面玄関で患者さんを迎えます。紹介状を手にと不安そうに来院される方、再診受付機の操作に戸惑う方、大きな病院は支払いにも機械操作が必要で。初めて受診される方には色々大変です。

4年前、雪道で転倒し怪我した夫に付き添いながら初めて受診しました時、私もとても不安でした。おかげ様で主人は元気になり、ほっとした時、院内で病院ボランティア募集のチラシが目に入りました。その後、定年退職した私は早速ボランティアの応募をしました。ボランティアには特別な資格は必要ありません。ボランティアの活動は内容として、新患受付案内、再来自動受付機操作案内、車いす移

動介助、各科外来や検査室への案内などを行なっています。分からないことを質問された時は勝手に判断せず、必ず職員の方に確認しています。病院内で見たり聞いたりしたことは口外しません。個人情報には特に気を付けています。

ボランティアを始めて1年半余りが経ちました。体調に気を付けて笑顔を忘れず出来るだけ活動を続けたいと思っています。患者さん目線に対応できるように心がけています。患者さんからの「助かったわ」「ありがとう」と声をかけられると嬉しくやりがいを感じます。是非ご一緒に活動しませんか。活動後に職員の方と昼食しながらおしゃべりも楽しみです。



第9回地域がん診療連携拠点病院 市民公開講座

講演1. 「親と子でがんを学ぶ」 ～家族でがんとともに過ごすことをめざして～
埼玉医科大学総合医療センター

臨床心理士 五十嵐友里 乳がん看護認定看護師 布谷玲子

講演2. 「パパママ、ぼくも心配しているよ」

～がん患者さんのこどもへのサポートを考える～

慶応義塾大学病院 緩和ケアセンター 精神腫瘍医師 竹内 麻里 先生

日時： 7月29日（土）午後2時～4時

場所： 埼玉医科大学総合医療センター 5階大講堂 入場無料 先着200名（要申込）

お申し込み先 がん診療支援室 TEL/FAX：049-228-3455（直通）

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

平成29年5月22日から7月28日（金）まで ☆ 駐車場（無料）

病院ボランティア募集

医務課

病院ボランティア活動のご案内 (ボランティア募集)

埼玉医科大学総合医療センター

目的

当院は、安全で質の高い医療を提供し、地域から信頼される医療機関を目指します。また、病める人々を自発的に、且つ無償で援助しようとするボランティアの崇高な精神を尊重し、住民参加の「病院ボランティア」を導入しております。ボランティアの方々の暖かい手助けにより患者さんが安心して受診・治療することができればと考えております。皆様方の積極的な参加を期待しております。

主な活動内容

▶継続的活動（原則3ヶ月以上の期間）

- ♡ 玄関、エントランスホール、受付窓口等での案内及び誘導
- ♡ 車いす利用者の援助
- ♡ 外来診察室、病棟及び検査室等の案内・誘導
- ♡ 車いすの管理及び整備など
- ♡ その他

▶臨時活動（コンサート）

- ♡ ホールでのピアノ演奏など

求められるボランティア像

- ♡ 患者さんのプライバシーを守ることができる方
- ♡ 16歳以上で心身ともに健康な方
- ♡ 無報酬で積極的に活動できる方
- ♡ ボランティア保険に加入されている方（継続的活動の場合）



活動の時間（継続的活動の場合）

- ♡ 午前8時30分～午後5時30分までの間で、1回2時間以上の活動をお願いします。（日曜日・祝祭日を除く）
- ♡ 活動回数及び活動時間に制限はありません。無理のない範囲で都合のよい日、都合のよい時間帯で活動をお願いします。

活動中の服装（継続的活動の場合）

清潔で動きやすい被服のうえに当院で貸与するエプロンを着用し、活動をお願いします。

活動の場所（継続的活動の場合）

埼玉医科大学総合医療センターの外来及び病棟など

お問い合わせ

埼玉医科大学総合医療センター
埼玉県川越市鴨田1981
事務部医務課 永島（イトマ）
電話 049 - 228 - 3410

梅雨の時期、食中毒を防ごう！

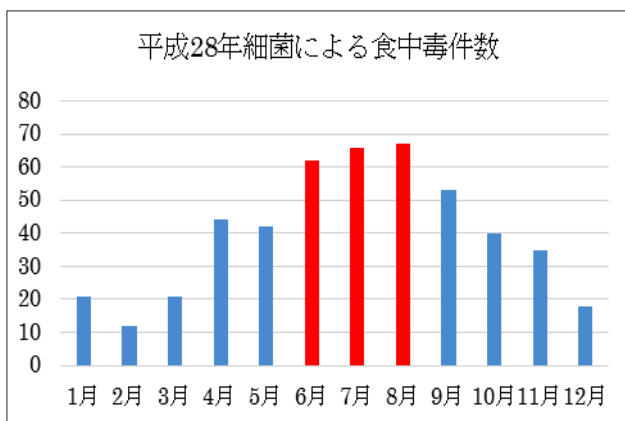
栄養部

稲見満理子

もうすぐ梅雨の時期ですね。湿気や気温が高くなり始め、食中毒が多く発生する時期になりました。食中毒を引き起こす主な原因には、細菌やウイルスなど様々なものがあります。今回は6月～8月に多く発生する、「細菌」による食中毒についてお話します。

<細菌による食中毒>

食中毒の原因となる細菌の代表には、O157などの腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどがあります。細菌は室温（約20℃）で活発になり、体温くらいの温度で最も活発になります。



厚生労働省 平成28年食中毒発生状況参照

<細菌による食中毒を防ぐ3原則>

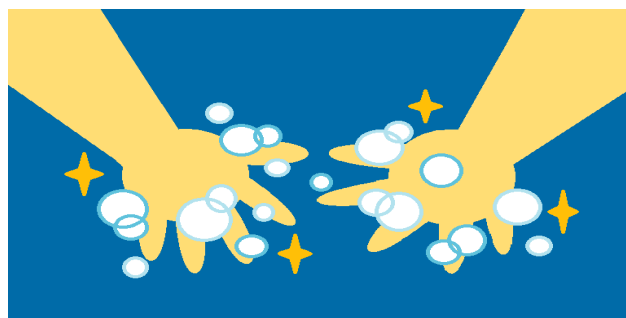
細菌による食中毒を防ぐ為の3原則を示します。

- ①細菌を食べ物に「つけない」
- ②食べ物に付着した細菌を「増やさない」
- ③食べ物などに付着した細菌を「やっつける」



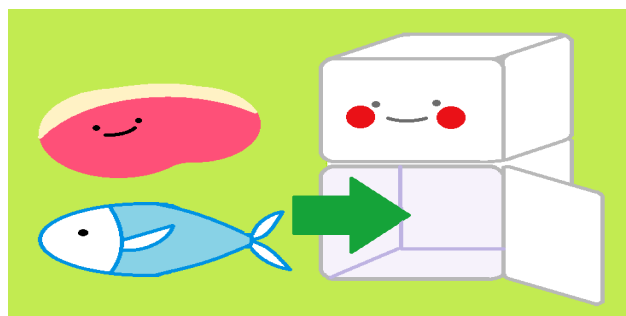
①つけない

手にはたくさんの雑菌がついています。細菌を食べ物に付けないように、食事の前、調理前、生の肉や魚・卵などを扱う前後は必ず手を洗いましょう。食品の保管の際も細菌が付かないようラップをかけたりすることが大切です。



②増やさない

細菌は10℃以下では活動が遅くなり、-15℃以下では活動がストップします。細菌を増やさないためには、低温で保存することが重要です。肉や魚などの生鮮食品は、すばやく冷蔵庫に入れましょう。



③やっつける

多くの細菌は加熱でやっつける事ができるため、よく加熱しましょう。特に肉料理は中心まで火を通すことが大切です。また生の肉や卵、魚に触れたまな板、包丁などは洗剤でよく洗い、熱湯をかけて殺菌しましょう。



参考資料：厚生労働省・農林水産省ホームページ、
政府広報オンライン イラスト 一木 春那

夜間出入口のご案内

総務課

夜間（19：30～6：00）の出入口は高度救命救急センター1F（ER受付前）1ヶ所のみとなっており、本館出入口は夜間（19：30～6：00）閉鎖さ

れております。

ご理解ご協力の程よろしくをお願いいたします。



外来受診について

初めての方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
- * 診療時間 9:00 ～ 17:00

再来の方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
(予約の方を除く)

予約以外の11時以降の受付はありません。

初めての方、再来の方も午後まで診療を行ってありますが11時以降の受付はできません。(再来で予約のある方を除く) また、診療科や曜日によって受付できない場合もあります。

面会者へのお願い

- ・ 咳、熱などの症状ある方やお子様の面会はお遠慮ください。
- ・ 必ず病棟の看護師に面会の許可を得てください。

アクセス

電車

池袋より東武東上線・東京メトロ有楽町線30分 川越駅下車
西武新宿駅より西武新宿線60分 本川越駅下車
大宮駅よりJR埼京線20分 川越駅下車
大宮駅よりJR高崎線9分 上尾駅下車
※下車後、バスまたはタクシーでおいでください。

バス

川越駅東口より東武バス
(上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き)
(25分)埼玉医大下車
JR高崎線上尾駅西口より東武バス(川越駅行き)
(20分)埼玉医大下車
市内循環バス「川越シャトル」40系統 42系統 43系統

車

関越自動車道川越インターより8km、約15分
県道51号線(川越上尾線)沿い

サマーコンサートのお知らせ

7月22日(土) 16:00
本館1F待合ホール



表紙写真：天台宗別本山中院

編集後記

木々の緑もだんだん色濃くなってまいりましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

市内の喜多院直ぐ南方にあります中院。正式には天台宗別本山中院と呼ばれ、島崎藤村ゆかりの寺院として知られております。境内には、川越市の文化財に指定された島崎藤村の茶室・不染亭があり、茶道を楽しむ人々に利用されており、川越茶・狭山茶の発祥の地としても有名です。5月には中院にて大茶会も開催されております。

是非、川越の歴史や文化に触れてみてはいかがでしょうか。

次号の発行は8月を予定しております。

編集員

埼玉医科大学総合医療センターニュース 第47号

発行年月日 平成29年5月31日
発行 埼玉医科大学総合医療センター
発行責任者 病院長 堤 晴彦
連絡先 医療センターニュース編集局(医務課内)
印刷 ヨーコー印刷(株)